

基本目標1	環境意識の向上 － 環境について考え行動する人づくりを進めるまち －
-------	---------------------------------------

基本方針1.1	環境学習・環境教育の推進	
施 策	主な取組み	実施した主な内容
環境学習・環境教育の推進	① 学校における環境学習・環境教育の推進	● 更新した「羽島市の環境（児童版）」を各小学校・義務教育学校9校に配布し、小学校の環境学習に活用した。 【生活環境課】 ● 中学校：社会科の公民、理科、英語の授業で地球温暖化を題材として環境問題について考える時間を設けた。 小学校：総合的な学習の時間にSDGsについて考え、自分事として自分の生活を見つめ直す時間を設けた。 【学校教育課】 ● 市内小中学校及び市立図書館等にてイタセンパラを飼育展示。身近に触れ合うことにより、広く児童生徒や市民にイタセンパラとその生息環境や、環境保全についての興味促進を図った。 【生涯学習課】 ● 小学4年生を対象に「ごみと資源物」について学ぶ出前講座を実施した。 小学校 4件 【環境事業課】
	② 地域における環境学習・環境教育の推進	● 8月4日に環境学習講座「親子で学ぶ！電気を発電してみよう！」を開催。 協力企業：東邦ガス株 （R5.1.23 ゼロカーボンシティ実現に向けた包括連携協定） 参加：7組 【生活環境課】

基本方針1.2	環境保全活動の推進	
施 策	主な取組み	実施した主な内容
環境保全活動の推進	① 市民等の参画・協働による環境保全活動の推進	● 274件の地域清掃活動実施届の申請があり、協力・支援に努めた。引き続き、地域清掃ごみを無料で回収する等の協力・支援を継続した。 【環境事業課】
		● アダプトプログラムの制度や登録済の団体情報等をホームページで周知し、登録数の増加に努めた。 同制度の実施要綱に基づき、登録団体にボランティア保険の加入及び軍手やごみ袋を随時提供し、市民の清掃活動の支援を実施した。 【市民協働課】
環境保全活動の推進	② 人材の確保	● 岐阜県が「清流の国ぎふ環境教育推進事業」で実施している、環境保全の普及啓発を目的に就任した環境教育推進員の活用について情報収集を行った。 【生活環境課】
		● 地球温暖化に関する研修会に参加し、他市の取組状況や岐阜県地球温暖化防止活動推進員と意見交換を行った。 また、東邦ガス(株)と子どもの環境教育等について意見交換、情報共有を行い、その連携を図った。 【生活環境課】

基本方針1.3	環境情報の発信	
施 策	主な取組み	実施した主な内容
環境に対する理解・関心度の向上	① 幅広い環境情報の提供	● 「羽島市の環境」を更新し、公害事案件数や家庭系ごみの量等の情報を取りまとめ、ホームページに掲載した。 【生活環境課】
		● 環境月間（6月）、野焼き禁止等の啓発、家庭系粗大ごみ戸別収集等の情報をホームページ・広報及びLINE等のSNSを活用して周知した。 【生活環境課】
		● 「羽島市の環境（児童版）」を更新したものをホームページに掲載し、子どもにも分かる環境情報を提供した。 【生活環境課】
		● 「岐阜県地球温暖化防止活動推進センター」が実施している岐阜県地球温暖化防止活動推進員の活用について情報収集を行った。 【生活環境課】

目標指標	現状値 (2019年度)	報告値 (2025年度)	目標値 (2025年度)
市内小中学校・義務教育学校での環境教育の実施 【学校教育課】	教科指導や総合的な学習の時間の中で実施	目標値の学習内容を13校で実施 (市内全小中学校・義務教育学校)	調べ学習や体験的な学習等を取り入れた環境学習の実施
アダプトプログラム登録数 【市民協働課】	6件	21件	10件以上

羽島市環境基本計画進捗状況（令和8年3月31日現在）

基本目標2	快適な生活環境 － 安全・安心な暮らしを実感するまち －
-------	---------------------------------

基本方針2.1	快適な生活環境の保全	
施 策	主な取組み	実施した主な内容
大気・騒音環境等の保全	① 良好な大気・騒音環境等の確保	● 大気汚染の常時監視、自動車・新幹線騒音監視調査等の各種環境調査を実施し、ホームページで公表した。 一般環境騒音 3か所、新幹線騒音 2か所、自動車騒音 2路線【生活環境課】
		● 法令に基づく届出、届出方法、対象施設等をホームページで公表し、法令順守の啓発に努めるとともに、メールでの受付を行い、利便性向上を図った。【生活環境課】
		● 公害事案対応件数等を「羽島市の環境」に反映・更新し、ホームページに掲載した。【生活環境課】
水環境の保全	① 良好な水環境の確保	● 公共用水域における定期的な水質検査を岐阜県等の関係機関と連携して実施し、ホームページで公表した。 市水質検査実施 7か所【生活環境課】
		● 水質汚濁に関する事案のうち、特定施設設置工場が原因の可能性がある事案を岐阜県に報告し、連携して解決に向けて取り組んだ。 水質汚濁調査事案4件、うち岐阜県報告事案4件【生活環境課】
	② 生活排水処理の適正化	● 羽島市汚水処理施設整備構想アクションプラン及び羽島市公共下水道事業計画に基づき整備を進めた。【工務課】
		● 長寿命化総合計画に基づき環境プラントの維持補修を実施した。 し尿・浄化槽汚泥の処理量 32,555kℓ【環境プラント】
		● 効率的な資源活用や持続可能な下水道事業を実現するため「羽島市公共下水道ストックマネジメント計画」の基本設計を行った。 汚水ポンプの修繕等を行った。 放流水質等の状況等を「浄化センター維持管理年報」に取りまとめた。 【浄化センター】

		● 浄化槽設置整備事業補助金を交付し、合併処理浄化槽の普及促進を図り、生活系排水による公共用水域の水質を改善した。 補助金交付件数 66件【生活環境課】
公害に関する対応	① 公害等通報事案への適切な対応	● 現場確認を行い、法令に基づき行為者に対して指導等を行った。 119件：（内訳）野焼き 81件、騒音・振動 5件、悪臭 0件、その他 33件 【生活環境課】

基本方針2.2 安全・安心なまちづくりの推進		
施策	主な取組み	実施した主な内容
快適な住環境の形成	① 環境美化の推進	● 雑草繁茂地の現場確認を行い、指導が必要と判断した事案については、土地所有者等に対し、適切な管理をするよう指導等を行った。 雑草繁茂相談件数 272件 文書対応件数 189件【生活環境課】 ● 土地所有者等の支援策として、市所有の充電式草刈機の無償で貸出を実施した。 貸出申請件数 11件【生活環境課】 ● 地域の環境美化を促進するため、希望する自治会に環境保全啓発用の環境美化看板を支給した。 支給枚数 86枚【生活環境課】 ● 市道修繕活動を行った自治会に対し、報奨金の支払いを実施した。 70自治会【土木監理課】
	② 良好な景観形成	● 一定規模以上の開発・建築行為に係る届出を7件受け付け、景観基準への適合を確認した。【都市計画課】
	③ 緑化の推進	● 国営木曽三川公園「桜堤サブセンター」堤内地の早期整備に向け、関係機関との協議・調整等の働きかけに努めた。 11月に秋のイベント「ピクニック日和」を開催した。来場者数2,719人 3月に「背割堤さくらまつりinはしま」を開催した。来場者数5,500人 【都市計画課】
	④ 空き家の適切な管理	● 空き家対策セミナー及び相談会を10月と2月に開催した。参加者 56人 【生活安全課】

目標指標	現状値 (2019年度)	報告値 (2025年度)	目標値 (2025年度)
下水道供用開始区域面積割合 【工務課】	66.8%	75.4%	78.0%以上
生活排水処理率 【生活環境課】	64.9%	72.8%	71.4%以上
桑原川のBOD（生物化学的酸素要求量）の年間観測データの75%値【生活環境課】	5mg/ℓ以下	公表前 (11月頃)	5mg/ℓ以下
騒音に係る環境基準（住居地域） 【生活環境課】	A・B地域：55dB以下 C地域：60dB以下	A・B地域：55dB以下 C地域：60dB以下	A・B地域：55dB以下 C地域：60dB以下
市民一人当たりの都市公園面積【都市計画課】	7.55㎡/人	7.85㎡/人	7.65㎡/人以上
特定空き家等が改善もしくは撤去に至った件数（累計） 【生活安全課】	3件	7件	9件以上

羽島市環境基本計画進捗状況（令和8年3月31日現在）

基本目標3	循環型社会の形成 － 環境にやさしい持続的に発展するまち －	
基本方針3.1	5R運動(リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ・リペア)の推進	
施 策	主な取組み	実施した主な内容
ごみの減量化	① 食品ロスの削減	● 広報やホームページに「3きり運動」を掲載し、ごみの減量・食品ロスの削減の啓発を行った。【環境事業課】 ● 「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」に参加し、他自治体等の取組の把握に努めた。【環境事業課】
	② 家庭系ごみの有料化の実施	● 令和3年10月から開始した家庭系ごみ（可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ）の有料化、令和5年10月から粗大ごみの戸別収集を継続実施した。【環境事業課】
ごみの資源化	① プラスチックごみの資源化推進	● HOYA(株)アイケアカンパニーと締結した「SDGs推進に関する協定」に基づき、使い捨てコンタクトレンズの空ケースを回収した。 回収量 212.96kg【環境事業課】 ● 「その他プラスチック」をペレット化等にする再資源化事業を実施した。 回収量 94,810kg【環境事業課】
	② 資源物ストックヤードの利用促進	● 広報はしま8月号、ホームページに資源物ストックヤードの利用方法を掲載し、施設の利用促進を図った。【環境事業課】
	③ 緑ごみの回収・資源化の推進	● 緑ごみの回収及び再資源化を実施した。【環境事業課】
	④ 使用済小型家電の資源化推進	● 市役所本庁舎及び資源物ストックヤードにおいて、使用済小型家電の拠点回収を実施した。【環境事業課】 ● 株式会社マーケットエンタープライズと「リユース施策の協定」に基づき、リユースサイト「おいくら」を通じたリユースの促進を図った。 依頼件数72件【環境事業課】
	⑤ 廃食用油の回収・資源化の推進	● 自治会協力のもと、年間4回廃食用油の回収を実施した。 資源物ストックヤードにおいて、廃食用油の回収を行った。 回収量 1,810ℓ/年【生活環境課】

基本方針3.2		廃棄物の適正処理の推進
施 策	主な取組み	実施した主な内容
適正処理等の推進	① 次期ごみ処理施設整備事業の推進	● ごみ処理施設の建設工事を進め、令和9年4月から稼働開始予定。 ごみ処理施設環境保全協議会で地域貢献策等の提案及び協議を行った。 【生活環境課】
	② 資源物持ち去り行為の対策の推進	● 職員による監視パトロールを実施した。 【環境事業課】
	③ 不法投棄対策の強化	● 自治会に対して集積所の監視カメラの貸出を行った。 設置件数 4件 【環境事業課】
		● 不法投棄された廃棄物の回収及び処理を継続して実施した。 【環境事業課】
	④ 高齢者等ごみ出しサポートの検討	● 高齢者のみ等の世帯に対し、粗大ごみの収集運搬費の助成を実施した。 助成件数 2件 【環境事業課】
	⑤ 災害廃棄物への対策	● 「岐阜県災害廃棄物処理計画」、「羽島市災害廃棄物処理計画」及び「羽島市災害廃棄物処理初動対応マニュアル」に基づき、適正な災害廃棄物対応を継続した。 【環境事業課】
広報・啓発	① ごみ処理費用及びごみ処理方法の周知	● 広報やホームページ等でごみの分別方法等の情報を掲載した。【環境事業課】
	② 分別方法のわかりやすい情報提供	● ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の内容を市民に分かりやすいように修正した。 登録者数 7,088人 【環境事業課】
		● 不燃ごみ集積所を対象に分別看板を作成し、希望する自治会に配布した。 【環境事業課】
	③ ごみに関する学習機会の提供	● 出前講座の開催等、市民に対しごみについて学ぶ機会を提供し、啓発を行い、不法投棄やごみの抑制に務めた。 【環境事業課】
		● 小学校の児童を対象に「ごみと資源物」を題材にした環境教育に取り組み、ごみの減量や適正処理に関する意識啓発を図った。 出前講座 5件 【環境事業課】

目標指標	現状値 (2019年度)	報告値 (2025年度)	目標値 (2025年度)
市民一人1日当たりの家庭系 ごみ排出量（可燃ごみ） 【環境事業課】	419.9g/人・日	360g/人・日	405.2g/人・日以下
不法投棄発生件数 【環境事業課】	165件	85件	165件以下

羽島市環境基本計画進捗状況（令和8年3月31日現在）

基本目標4	自然との共生 － 自然を守り共生するまち －
-------	---------------------------

基本方針4.1	自然環境の保全	
施 策	主な取組み	実施した主な内容
身近な自然環境の保全	① 農地の保全と管理	● 高齢等によって耕作の継続がむずかしくなった農地所有者からの相談に対応し、農地中間管理事業の活用を働きかけ、遊休農地発生防止に努めた。 【農政課】
		● 多面的機能活動団体組織12団体による農地維持・資源向上及び長寿命化の取組を実施した。【農政課】
	② 環境保全型農業の普及促進	● 県の各種補助制度を活用し、1経営体の担い手農業者に対するスマート農業機械設備導入支援を行った。【農政課】
		● 有機農業等の環境に配慮した農業を推進した。【農政課】
	③ 身近な水辺環境の保全・維持管理	● 木曽川・長良川の堤外施設を指定管理者による維持管理（清掃作業・せん定・除草作業）を実施し、水辺環境の保全に取り組んだ。【スポーツ推進課】
		● 境川・桑原川を業務委託による維持管理（除草・清掃作業）を実施し、水辺環境の保全に努めた。【土木監理課】
地産地消の推進	① 地産地消の普及促進	● 「第2期羽島市食の地産地消計画」に基づき、地産地消の普及促進に努めた。地産品がふるさと納税サイトに登録されるよう、働きかけを行った。【農政課】
	② 学校給食での地元産品の積極的利用	● 学校給食に市内産のトマト、十六ささげ、れんこん、ブロッコリー、柿及び白菜を提供した。【農政課】
河川環境の保全	① 河川環境の保全・維持管理	● 河川の調査、環境教育等に取り組んでいるNPO法人長良川環境レンジャー協会が、「身近な水環境の全国一斉調査」に同調して実施した「長良川流域一斉環境調査」について情報収集を行った。 【生活環境課】
	② 河川清掃の実施	● 木曽川と長良川各1か所で河川清掃を実施した。 【土木監理課】

基本方針4.2	生物多様性の保全	
施 策	主な取組み	実施した主な内容
貴重な生き物・身近な生き物の保護	① 貴重な生き物（イタセンパラ等）・身近な生き物の保護	● チラシ配布やSNS等の活用により、広くイタセンパラサポーターを募集し、保全活動を推進した。【生涯学習課】 ● 福寿小学校、桑原学園にて環境学習講座を行い、体験学習等により河川に生息する生き物やそれを取り巻く環境を学ぶことで、環境保護意識の醸成を図った。【生涯学習課】
	② 有害鳥獣による被害状況の把握と対策の実施	● 特定外来生物に対する注意喚起を行い、個人捕獲希望者に箱わなの貸出しを実施した。 捕獲許可件数 アライグマ 62件、ヌートリア 19件【農政課】 ● 猟友会によるカラス等の猟銃捕獲やヌートリアの団体捕獲を実施した。 捕獲実績 アライグマ9頭、ヌートリア 13頭、カラス 86羽(卵95個)、その他鳥獣 19頭(羽)【農政課】
鳥獣害への対応	① 特定外来生物の防除	● 特定外来生物に対する注意喚起を行い、個人捕獲希望者に箱わなの貸出しを実施した。 捕獲許可件数 アライグマ 62件、ヌートリア 19件【農政課】

目標指標	現状値 (2019年度)	報告値 (2025年度)	目標値 (2025年度)
担い手への農地集積率 【農政課】	35%	45.2%	78%以上
GAP（農業生産工程管理）認証取得経営体数【農政課】	1経営体	0経営体	2経営体以上
市特産品目数【農政課】	3品	8品	5品以上
イタセンパラサポーター数 【生涯学習課】	168人	393人	185人以上

羽島市環境基本計画進捗状況（令和8年3月31日現在）

基本目標5	脱炭素社会の実現 － 環境に負担の少ない暮らしを実践するまち －
-------	-------------------------------------

基本方針5.1	地球温暖化対策の推進	
施 策	主な取組み	実施した主な内容
地球温暖化に配慮した市民生活の普及	① 節電・節水の普及・啓発	● 各小学校で実施する環境学習において、市が作成した「羽島市の環境（児童版）」を活用し、省エネ活動の学習を行うことができた。【生活環境課】
	② 省エネルギーの普及・啓発	● 45の公共施設をLED照明に更新し、温室効果ガスの削減を図った。【生活環境課】 ● 指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）として17施設（新規5施設）を開放し、ホームページや広報で周知した。【生活環境課】
行政が取り組む地球温暖化対策	① 羽島市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の推進	● 「羽島市環境管理マニュアル」に基づき、一事業者としてISO14001に準じた節電などの省エネ活動を実施し、1～2月に内部環境監査を行った。【生活環境課】
		● ノー残業デーの徹底、OA機器の省エネモード設定、昼休みの消灯等の節電に努めることで、電気使用量の削減を図った。【生活環境課】
		● クールビズ及びウォームビズの取り組みを継続した。【生活環境課】 ● グリーン購入法に基づき、環境にやさしい商品を購入することに努めた。【生活環境課】
	② 羽島市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定	● 取組実績、排出量数値を集計・公表し、削減目標の達成に努めた。【生活環境課】

基本方針5.2	再生可能エネルギーの普及	
施 策	主な取組み	実施した主な内容
再生可能エネルギーの利用推進	① 公共施設への再生可能エネルギーシステムの推進	● 本庁舎において熱源機器の運転時間や稼働時間を見極め、省エネルギー化に努めた。熱源機器の運転時間や稼働時期の見直しを図った。【管財課】
		● 太陽光発電設備を適切に維持管理した。 発電量 市営斎場 42,805kwh 図書館 16,133.4kwh 北部学校給食センター 156,704kwh

基本方針5.3	省資源・省エネルギーの推進	
施 策	主な取組み	実施した主な内容
自動車の燃料消費の削減	① 環境にやさしい運転（エコドライブ）の普及促進	● 公用車のエコドライブ、タイヤの空気圧の確認に努め、環境にやさしい運転に取り組んだ。 ● 広報はしま11月号において、エコドライブ3か条を掲載し周知を図った。【生活環境課】
	② ハイブリッドカー・低燃費車等の導入促進	● 廃車及び新規購入なし。【管財課】
公共交通機関利用の促進	① 公共交通手段の確保とコミュニティバスの安定運営	● JR岐阜羽島駅を交通結節点として、鉄道・バス・コミュニティバス（2市1町）の運行により、広域的な公共交通網を確保した。【生活安全課】
		● 暑さ対策として、バス待ち場を公共施設内に設置し、待合環境を整備した。【生活安全課】

目標指標	現状値 (2019年度)	報告値 (2025年度)	目標値 (2025年度)
温室効果ガス（CO ₂ ）排出量 (市公共施設)【生活環境課】	10,781t-CO ₂	9,936t-CO ₂	現状値対比 5%以上の削減
公用車のガソリン使用量 (消防・上下水道部を除く) 【管財課】	ガソリン：31,395ℓ 軽油：3,808ℓ	ガソリン：23,648ℓ 軽油：3,450ℓ	現状値対比 5%以上の削減
コミュニティバスの 年間乗車人数 【生活安全課】	101,343人 (2018年10月～ 2019年9月)	95,074人 (2024年10月～ 2025年9月)	102,000人以上 (2024年10月～ 2025年9月)